

福島第一原子力発電所現地確認報告書

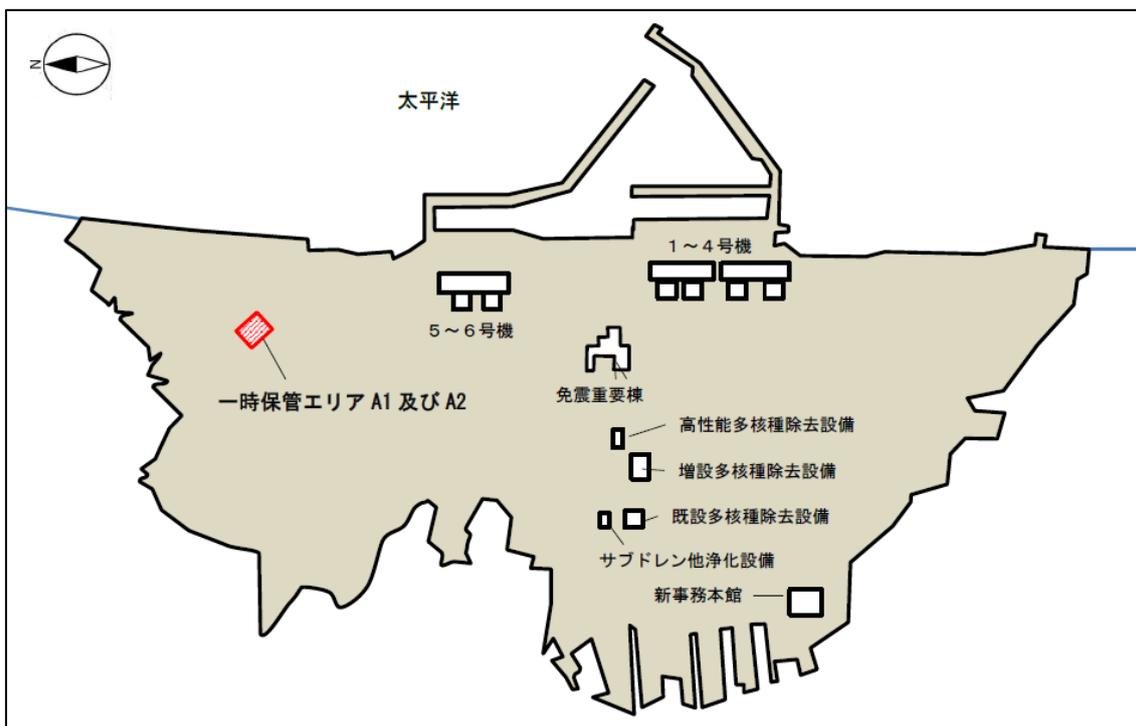
- 1 確認日
令和2年8月24日（月）
- 2 確認箇所
一時保管エリアA1及びA2
- 3 確認項目
一時保管エリアA1及びA2の現況

4 確認結果の概要

一時保管エリア A1 及び A2 は、表面線量率 30mSv/h 以下のガレキ類の仮保管設備であるが、高線量廃棄物保管容量が確保されている等の理由から仮設保管設備としての使用を取り止め、低線量ガレキ類の一時保管エリアに転用することが計画されている。

そのため、一時保管エリア A1 及び A2 に保管されているガレキ類の取り出しが行われており、ガレキ類を取り出した後にテントハウス解体等が実施される予定であるが、本日は一時保管エリア A1 及び A2 の現況の確認を実施した。

- ・一時保管エリア A1 では、ガレキ類の取り出しが完了していた。（写真 1）
- ・一時保管エリア A2 では、ガレキ類についてはテントハウス内に野積み保管されているものもあったが、一部はコンテナに収納されていた。（写真 2）
- ・東京電力によると、低線量ガレキ類の一時保管エリアへの転用に当たっては、野積み保管場所の表層土の撤去も実施するとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
一時保管エリアA1テントハウス外観



(写真1-2)
一時保管エリアA1テントハウス内部
の状況
ガレキ類は取り出されていた



(写真1-3)
一時保管エリアA1テントハウス内部
の状況
一部資材については、未撤去であっ
た



(写真2-1)
一時保管エリアA2テントハウス外観



(写真2-2)
一時保管エリアA2テントハウス内部
の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。